

# 専修大学 × SDGs

## 社会知性でつなぐ未来



専修大学はSDGs (Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標) の達成に向けて、教育、研究、社会貢献などさまざまな活動を展開している。

SDGsは2015年に国連サミットで策定された。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを目標としている。

SDGsの理念は、「社会知性の開発」をめざす専修大学の教育目標とシンクロしている。「社会知性の開発」とは、学生が得た知識や技能を自分だけのものとせず、地域

や社会、そして地球的規模の諸課題の解決のためにも積極的に活用しようとするマインドを醸成すべきという専修大学の21世紀ビジョン。

持続可能な未来へつなぐため、本学では社会知性の開発とSDGsが深く結びつき、学生や教員によるさまざまな挑戦が行われている。今回は9月に開催された取り組みを紹介する。

専修大学のSDGs行動理念や多様な実践はホームページで紹介している。



# ニュース専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
発行所  
専修大学広報課  
〒101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

### 主なニュース

- 1 司法試験10人合格/図書館コンソーシアムに加盟
- 2 経営・森本ゼミが新潟県「地域課題解決提案事業」
- 3 商学研究科共同公開講座「中小企業のアジア展開」
- 4 【寄稿】教員・学生が見たパラリンピック
- 5 【校友を訪ねて】ネイチャーガイド 岩崎仁さん
- 6 【石巻専修大学】カーナビで石巻の魅力を発信

おことわり  
マスク未着用の写真は  
撮影時のみ外しています

## 創立142年鳳祭

10月29日(金)〜31日(日)

※詳細は3面

## ホームカミングデー

11月3日(水・祝)

※詳細は6面

オンライン開催

### 商・渡辺ゼミ生「ベジコミ」の活動を報告

#### 食品ロス「自分ごと化」イベント

食品ロスを減らすためにできることを考える「食品ロス『自分ごと化』イベント」が9月11日、オンラインで開催された。東京都環境公社との共催で、一般社団法人サステイナブルフードチェーン協議会などが協力。お笑い芸人でごみ清掃員でもあるマシガンズの滝沢秀一さんや、持続可能な活動に取り組む企業の担当者、研究者らを招き、講演、学生発表、クロストークを通じて、食品ロス問題について考えた。



ベジコミの活動を報告する渡辺ゼミ生

生は、野菜を使ったレシピや野菜の保存方法に関する情報発信を通じて、食品ロス削減については意見交換した。食品卸企業の担当者は、理念や施策を社内に浸透させることの難しさを語る一方で、廃棄現場の視察をきっかけに社員の意識が前向きに変わったというエピソードを紹介。

滝沢さんは「一人では難しくても、仲間と一緒にできることは増える。問題解決のためには人を巻き込むことが大事」と言葉に力を込めた。

イベント終了後、丹野匠さん(3年次)は「自分ごと化」は知ることから始まると思う。私たちのインスタグラムが、食品ロス問題について同世代が関心を持つきっかけになればうれしい」と話した。

#### 中小企業SDGs研究センター公開講座

社会知性開発研究センターは、中小企業へのSDGsの浸透・普及を目的に、中小企業SDGs研究センター(研究代表者 岩尾詠一郎 商学部教授)を設置した。9月10日、中小企業SDGs研究センターによる公開講座(共催: 神奈川県)がオンラインで開催され、神奈川県内の中小企業関係者ら約80人が参加した。

同センターによる「SDGs浸透・普及のための啓蒙活動」は、2020年度神奈川県「大学発・事業提案制度」に採択された。神奈川県と本学の間で締結した「協働事業契約書」に基づき、21年度に事業展開している。事業には本学学生も協力しており、一環として今回の公開講座を開催した。

初めに岩尾教授が、県内中小企業のSDGsに対する意識や取り組みに関する調査結果を報告した。調査によると、認知度は9割を超える一方、実際に取り組んでいる企業は4割に達していなかった。未着手の理由として「内容が理解できていない」「実施に向けた検討方法が分からない」などの回答が多く、課題として人材・予算・時間・ノウハウの不足が浮き彫りになった。

続いて小林守商学部教授が講演。本学学生による活動や海外における教育を紹介したうえで、「SDGsの価値観は若い世代の常識になりつつある」と言及。企業においても「今後存続していくためにSDGsへの取り組みが必要だ」とまとめた。SDGsに積極的な神奈川県内企業3社が自社の取り組みを発表した後、県の担当者を交えてパネルディスカッションを行い、中小企業がSDGsに取り組む際の課題の解決のために、まず考えるべきことについて議論した。

成果や課題を共有したパネルディスカッション



### 神奈川県の企業にアンケート 普及の実態と課題探る

## 学生への食料支援プロジェクト 450人に無料配付

10月に第2回を予定

コロナ禍で仕送りや収入が減った学生を支援するため、学生部は「学生への食料支援プロジェクト」として、食料品の無料配付を行った。9月24日から5日間で、学内システムで予約した学生計450人に食料セットなどが配られた。10月に第2回目を実施予定。

配付したのは米、3日分のインスタント食品、菓子、飲料などのほか、手指消毒ジェル、生理用品。物資は校友会、育友会の寄付金で購入したほか、専大センチュリー、東京都、多摩区応援プロジェクト、(株)StockBaseなど各種団体や民間企業から提供を受けた。SKV、SIVの学生が配付などを担当した。

学生たちは、袋に入った約3kgの物資を受け取り、持参したりユックサックなどに詰め替えた。「アルバイトのシフトが減っていたのでこうし



食料セットを受け取る学生  
= 生田キャンパス



学生部が主催した食料支援プロジェクト 神田キャンパス

第1回 食料支援プロジェクト 配付会場